

ひくまの : 浜松医科大学附属図書館報. No. 70

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学附属図書館 公開日: 2020-03-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 浜松医科大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/00003682



Hamamatsu University School of Medicine Library Bulletin " Hikumano " No.70 Mar, 2020



2019年11月に附属図書館の蔵書検索システム (OPAC) をリニューアルしました。また、2020年春に医学文献データベース「PubMed」がリニューアル版に切り替わります。新しいOPACとPubMedの基本的な使い方や新機能をご紹介します!!

浜松医科大学附属図書館蔵書検索 (OPAC)

附属図書館OPACがリニューアルされました。OPACの基本的な使い方と機能をご紹介します。

①簡易検索

附属図書館ホームページトップの検索窓にキーワードを入力し、虫眼鏡マークをクリックするか、エンターキーを押してください。蔵書検索結果が表示されます。

②詳細検索

検索窓右下の蔵書検索 (詳細) をクリックすると、蔵書詳細検索のページが開きます。キーワード、ISBN、資料種別、タイトル、編著者名、件名、出版社、出版年、和洋区分、請求記号等から検索が可能です。

③検索結果の絞り込み

左側の「絞り込み」で絞り込みたい項目にチェックをして、下部の「絞り込む」ボタンをクリックしてください。資料種別、著者、件名・キーワード、出版年、出版社、言語、所在、貸出区分から絞り込むことができます。

④横断検索

他大学所蔵、CiNii Articles (論文)、国立国会図書館でも同様のキーワードでの蔵書検索結果が表示できます。

⑤登録・メール・文献管理

資料詳細ページから使用できる機能です。「登録」では、ブックマークへの登録ができます。「メール」では、資料詳細ページのURLを任意のメールアドレスに送信できます (マイライブラリへのログインが必要)。「文献管理」ではRefWorksへの取り込み、RIS形式での出力が可能です。



附属図書館トップページ検索窓



OPAC検索結果一覧ページ



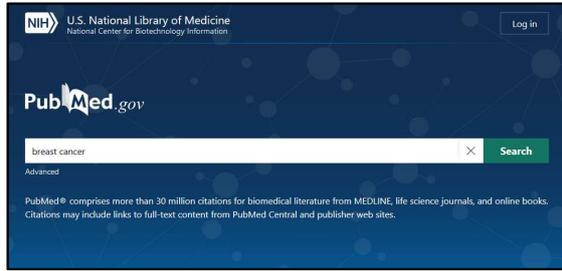
OPAC資料詳細ページ

PubMed <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/?otool=ijphumlib> (浜松医科大学専用URL)

PubMedは、主にアメリカを中心とする世界約70か国の外国語で書かれた医学生物学分野の雑誌論文が検索できる医学文献データベースです。現在、既にリニューアルされたPubMedが公開されており、2020年春に現行のPubMedと置き換わる予定です。新PubMedの基本的な使い方と機能を紹介します。

・簡易検索

検索窓にキーワードを入力し、「Search」ボタンをクリックしてください。



・今までのPubMedとの相違点

- ◆ スマートフォンやタブレット端末からもアクセスしやすいレスポンスデザイン
- ◆ 検索結果並び替えのデフォルトが最新の機械学習アルゴリズムを用いたBest Match (適合度順)に変更



新PubMed ツアーガイド動画

新PubMedの使い方などを説明した動画です。解説は英語ですが、比較的簡単な言葉で解説されています。

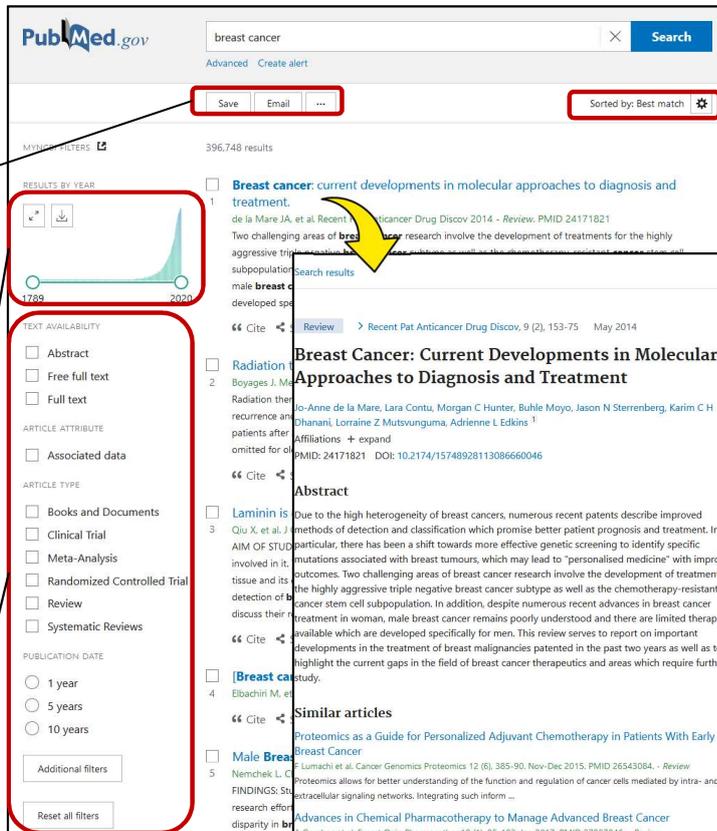


・検索結果の表示

検索結果が保存できます。
・「Save」: テキスト形式で保存できます。
・「Email」: 任意のメールアドレスに送信できます。

出版年ごとに検索結果を絞り込めます。また、長期にわたる文献の傾向がわかります。

検索結果の絞り込みができます。



適合度、新着、出版日から並び替えができます。また、検索結果一覧の表示方法をSummary、Abstractから選択できます。

フルテキストへのリンクがアイコンで表示されます。浜医大専用URLからアクセスすると、下のアイコンが表示されます。

クリックすると浜松医科大学で閲覧可能か確認できます。

オープンアクセス (OA) って何??

オープンアクセス (OA ; Open Access) とは、インターネット上で論文等の学術研究成果を全文公開し、無料で自由にアクセス・利用できることを指します。日本では、2016年2月に文部科学省の審議会等により、「学術情報のオープン化の推進について」が公表され、公的研究資金による論文及び論文のエビデンスとしての研究データについては原則、公開すべきであるとなりました。また、博士論文も学位規則により、大学の機関リポジトリにより公表されることが基本となっています。

◆ オープンアクセスのメリット

・学術研究の発展

研究成果が広く公開されることで様々な分野の情報の入手が容易になり、研究成果の相互利用が促進され、研究の幅が広がります。また、世界の国々の情報格差の解消にもつながり、社会に大きな利益をもたらすと考えられます。

・研究者自身のメリット

全世界の人々に公開されるため、より多くの人々の目に触れ、論文が引用される確率が高くなります。

・学術雑誌の価格高騰への対抗手段

UpToDateを使ったことがありますか？

国際化推進センター 講師 山下美保

皆さんはUpToDateを使ったことがありますか？

Densen¹⁾らによると医学知識の倍増時間は1950年代には50年だったものが、1980年代では7年、2010年には3.5年に短縮したと報告し、この傾向が続けば2020年にはわずか73日で倍増すると推測しています。新しい知識が溢れるなかで、これからの医学教育はどの情報が重要で、どう検索したらその情報にたどり着けるのか、ということをお知らせする必要があります。つい先日程行われた医学教育分野別評価の臨床系面談の際、「学生にPubMed、UpToDateを知っているかと質問したら、もちろんと答えた人と全く知らないと答えた人がいたのですが、どうしてですかね？」と聞かれました。使ったことがなければ薦められず、学生や研修医に、学習ツールとして是非もっと利用してもらいたいと思います。今回紹介させていただきます。

現代の臨床分野においてはEBM (Evidence-Based Medicine)、つまり「科学的根拠に基づく医療」が求められますが、学生や研修医が自分の力だけで最新のEvidenceを見極めるのはなかなか大変です。信頼できる内容で、短時間で調べられる、そんな情報源が求められています。UpToDateは、EBMの情報源として当大学の図書館でも利用できるデータベースです。もちろんUpToDate以外にも、EBMリソースとして挙げられるものは他にもあります(PubMed, MEDLINE, DynaMed,

eMedicine, The Cochrane Database of Systematic Reviewsなど)。どれを使うかは目的や個人の使い勝手によるかと思いますが、臨床的な疑問の最新情報を簡単に調べることができるという点で、UpToDateは優れていると思われます。

UpToDateは世界中の医師が執筆・編集を担当しており、専門分野は内科系が充実していますが、成人プライマリケア、産婦人科、小児科、一般外科、麻酔科などを含む25専門分野をカバーしています。編集は以前は年に3回行われていましたが、現在は随時とされています。特にWhat's New(最新情報)やPractice Changing UpDates(診療変更に関する最新情報)は、毎月更新され、常に新しい情報を取り込んでいます。

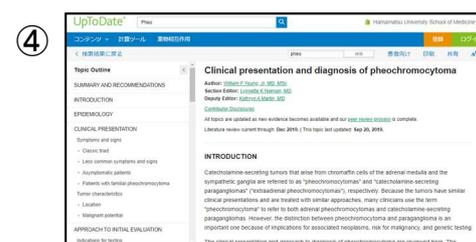
学生・研修医にとって最初のハードルは英語だということでしょうか。もうひとつは、厳選されているとはいえ情報量がやや多いかもしれません。使用方法としては、PBLのLearning Issueについて調べる、臨床実習中に疑問に思ったことを調べる、発表の準備などに使用するのが良いと思っています。

UpToDateを使用するには浜松医科大学図書館のHP医学論文をさがす①→診療情報を検索するUpToDate②から検索画面③に行くことができます。また、個人登録によりどこでも「UpToDate」の利用が可能になります。自宅のPC、スマートフォンやタブレットなどでも利用が

できます。

折角使えるツールですので、皆さん是非、活用してみてください！

1) Trans Am Clin Climatol Assoc. 2011; 12 2: 48-58..



◆ オープンアクセスにする方法

論文等をオープンアクセスにするには、主に以下の2通りの方法があります。

● グリーンオープンアクセス

研究者自身が個人のウェブサイトや機関リポジトリなどで公開(セルフアーカイビング)する。投稿する雑誌によっては、公開を許可されていない場合がある。

● ゴールドオープンアクセス

誰もが無料で利用できるオンラインジャーナル(オープンアクセス雑誌)に投稿する。出版費用は著者側(所属機関や資金提供者を含む)が負担するが、即時公開できる。

◆ 浜松医科大学学術機関リポジトリ <https://hama-med.repo.nii.ac.jp/>

浜松医科大学にもグリーンオープンアクセスにおいて利用可能な、浜松医科大学学術機関リポジトリ(HamaMed-Repository)があります。学術雑誌に投稿された論文や学位論文、紀要論文等の本学教職員による研究成果物等が掲載されています。

本学教職員・大学院生は、掲載することができますので、掲載していただける論文をお持ちの方は、学術情報課目録情報係までご連絡ください。(著作権等の理由により掲載できない場合もあります)



搬送便(e~らBox)はじめました

静岡大学附属図書館の図書が気軽に借りられるようになりました！！静岡大学と浜松医科大学の法人統合に先駆け、両大学附属図書館では相互協力のために搬送便を走らせています。搬送便を走らせることで、静大・浜医大間の図書貸借・文献複写(ILL)の送料が無料になります。所蔵資料は静岡大学附属図書館ホームページから検索できます。この機会にぜひご利用ください！

【サービス内容】

- ◆ 図書貸借：静岡大学附属図書館の図書貸出
無料（通常は往復で送料1,400～2,000円程度）
- ◆ 文献複写：静岡大学附属図書館資料のコピー提供
送料無料、コピー代のみ
(1枚あたり モノクロ35円, カラー75円)

*ご利用にはILLの事前申請が必要です。詳細については図書館ホームページをご覧ください。
<https://www.hama-med.ac.jp/lib/topics/2019/25850.html>

部分開館時のサービスについて

2019年12月に附属図書館が部分開館しました！2020年夏まで改修中の予定ですが、地下1階と1階の一部の利用が可能です。

【開館時間】

- 平日：9時～17時(土日祝日は休館)
★2020年4月(予定)～
平日：9時～20時
土日：10時～17時（祝日は休館）

【サービス内容】

- 資料の閲覧・貸出
- 資料の複写
- 学習席利用
- 特別利用（24時間利用）
- 個室予約（特別利用時は自由に利用可）



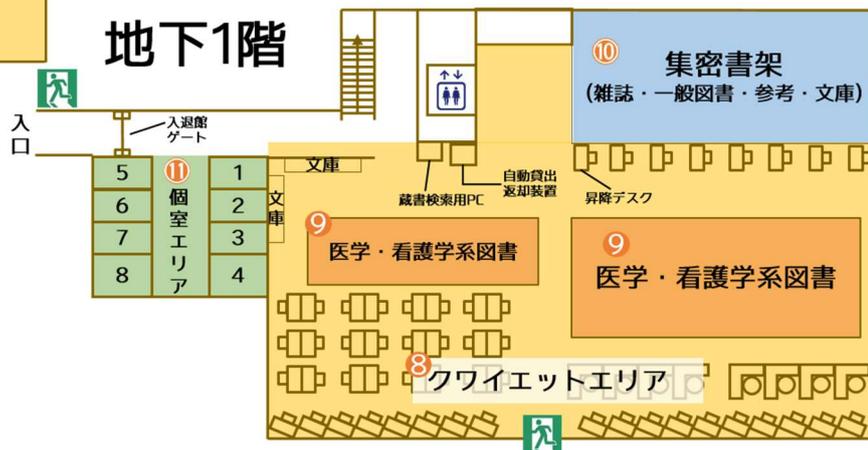
詳細については図書館サービスデスクまでお気軽にお尋ねください。

図書館内マップ（部分開館時）



- ① サービスデスク 図書館サービスの窓口です。所蔵、資料利用方法などの質問に対応します。わからないことは、お気軽にお尋ねください。
- ② 新着図書 新着図書を配架しています。
- ③ 新着雑誌 2020年1月以降に発行された新着雑誌を配架しています。
- ④ シラバス図書 シラバス（授業関連）図書を配架しています。
- ⑤ インフォメーションハブ パソコン・プリンターが設置される予定です。電子資料・データベースの閲覧ができます。
- ⑥ コラボレーションエリア 可動式の机・椅子等を設置予定です。グループでの学習やディスカッションに利用できます。
- ⑦ クリエーションハブ デジタル教材等を視聴・作成できる設備を設置予定です。会議、グループ学習等でも利用できます。（一部予約制）

地下1階



- ⑧ クワイエットエリア 静かな環境で個人学習できるエリアです。
- ⑨ 医学・看護学系図書 医学・看護学系図書が配架されています。米国国立医学図書館分類法(NLMC)に従って配架されています。
- ⑩ 集密書架 雑誌・一般図書・参考図書・文庫等が配架されています。
- ⑪ 個室エリア 個室で研究・学習ができます。（開館時間内は予約制）